



発行所

(一社)愛知県山岳・スポーツ
クライミング連盟

発行人 伊藤 智彦

編集人 河野 義人

名古屋市中村区名駅4丁目
24番地5号 第2森ビル401

◆11月22日 第27回遭難防止を考える講演会

<https://aichi-sangaku.org>



インターハイ北部九州大会 英彦山山系で登山大会開催

令和6年度のインターハイは、8月2日～6日に福岡県添田町の英彦山山系にて行われました。

英彦山は二百名山にも挙げられており、わりと知られた山だと思えます。大会は3泊4日で行われ、幕営地は3泊とも県立英彦山青年の家でした。第1日は開会式の後、天気凶や知識などの審査、第2～4日は三日間の登山行動でした。

登山コースは、英彦山の北側に位置する青年の家から大きく西を周回して英彦山中岳を経て出発地に戻る中岳コース、青年の家から東側を周回し南岳を経て出発地に戻る南岳コース。この2コースを男子隊と女子隊で第2・3日に日を変えて登りました。第4日は英彦山の西側を南下し岳鬼滅岳（がくめきだけ）を経て研石峠（きりいしとうげ）までの岳鬼滅山コースを男子隊、女子隊の両隊とも歩きました。

大会期間中は天候に恵まれたものの、熱中症に警戒しなければならぬような気温が高い日が続いたため、選手の状態を勘案して大会3日目の行動について男子はメインザックからサブザックでの行動に変更されました。また、女子は予定されていた中岳コースを短縮して実施されました。

インターハイへの出場は、岡崎高校は男子が3年ぶり4回目、女子が2年連続2回目の出場でした。審査は100点満点で項目ごとに審査されます。全国から鍛えられた選手たちが出場するため、上位はたいへん僅差の争いになります。

岡崎高校の結果は男子が98・1点で10位、女子が97・3点で15位と健闘しました。来年度も県大会で優勝しインターハイの出場権を得て、さらに上位を目指すよう、部員一同頑張っていきたいと思えます。

参考までに上位校を紹介しておきます。男子第1位 旭川東（北海道）、2位 松山南（愛媛）、3位 秋田（秋

田)。女子第1位 長崎北陽
台(長崎)、2位 旭川東(北
海道)、3位 盛岡一(岩手)
でした。



感想文A隊(男子隊)

愛知県立岡崎高等学校

唯一の3年生としての緊張と高校最後の登山を楽しましという気持ちを持って迎えました。英彦山の美しい自然に囲まれ、厳しい競技をする中でメンバーそれぞれの思いをぶつけ、より一層絆を深められたこと、他の強豪校と切磋琢磨し最後まで登山をした経験は自分にとってかけがえのないものとなりました。チームのみんな、先生方、そしてここまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

(CL3年山本皓大)

先生方や両親、部活メンバーに支えられ全国大会まで来

ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。一つ一つに全力で、絶対に後悔しないという思いで取り組みました。メンバーとの絆や思いやりを実感し、全国の同志と見た大きな景色など、登山人生で最高の思い出を作ることができました。この熱意や楽しさを後輩にしっかりと伝えていきます。最年長兼リーダーとしてチームを支えてくれた山本先輩、本当にありがとうございました。

(SL2年酒井健太郎)

今回の大会の舞台である英彦山は日本三大修験道の一つであり、修行の厳しさを実感する一方、山頂からの英彦山系の眺めは美しく、疲れを



感想文B隊(女子隊)

愛知県立岡崎高等学校

(2年柴田悠希)

ていて、なおかつ他校を目の敵にしていました。しかし、大会中で他校との交流を通して気持ちがほぐれ、改めて登山の楽しさというものに気が付かされました。人生に1度あるかどうかの貴重な機会です。皆さんありがとうございました。

忘れさせるものだった。そのような恵まれた環境で、全国から集まった県の代表チームと4日間戦えたこと、10位という好成績を残せたことは、一生の宝となるだろう。大会中には、改めて自分の課題を突きつけられる場面もあった。逃げ場のない環境でそれらと向き合うのは苦しかったが、その経験を忘れず、登山を楽しんでいきたい。

(2年蟹江亮太)

やっとの思いで手に入れたインターハイ。インターハイはまさに夢の舞台で念願叶い、とても嬉しいです。最初はチームの空気がビリビリし

きないインターハイ出場を経験することができ、とても充実した日々を過ごせました。筆記テストの席が近かったことなど些細なことをきっかけにいろいろな地域の選手と話して仲良くなれたのは、今まで登山を頑張ってきたおかげだと思えました。体調が悪くなった時に助けてくれた仲間や運営に携わった生徒や先生方のおかげで安全に登山することができ、辛かったけど本当に幸せでした。悔しい結果に終わってしまったけれどこれをばねにしてこれからも頑張っていきたいです。

(SL石原朱湊)

昨年度の先輩方に続き、インターハイ出場を果たしたチームの一人として登山ができて、光栄に思います。このような経験ができたのは先生方、家族、他の登山部員、大会を運営する方々など、多くの方々のおかげです。特に、県総体のときから励まし合っている支えあつてきたチームの3人には感謝の気持ちでいっぱい입니다。入賞には至らず悔しい思いもありますが、皆さんの喜びと成長がまった

(CL平野杏奈)

なかなか体験することので



(曳野紗史)

最高のインターハイでした。私が登山大会に出ることができたのは、苦楽を共にし、励ましあつてきた仲間と、支えてくださった先生方、両親、ボランティア含め大会開催に協力してくださった方々のおかげです。この感謝の気持ちと高校登山の経験を、これからの人生の糧にしていきたいです。少し悔いも残りますが、天候に恵まれた最高の楽しい登山ができました。大会出場を持つてもらえるように貢献できたと思っています。



画面中央が岩瀬氏

始めの一步

トランスジャパナルプスレース

(一社)愛知県山岳・スポーツクライミング連盟

副理事長 岩瀬 幹生

今から26年前(1998年)、私は日本海から日本アルプスを越え太平洋までを、10日間で駆け抜けた。現在のトランスジャパナルプスレースTJARの礎となったチャレンジ(試走)です。

露営用具や食料などを4、3日に絞り込んでスタート。この当時は、軽量の装備・ウェア・乾燥食糧などが無い時代。もちろんコンビニも存在しない。携帯電話も無いから、サポーターしてくれた家族とも、なかなか連絡がとれませんでした。10日目に大浜海岸にたどりつき「山登りを始めたころから想い抱いてきた夢が、やっと叶った！」感無量でした。畑薙ダムからのロードは、もう身体がポロポロで歩くのも精一杯の状態でしたが、なんとかゴールすることが出来た。この時の体験が、「これから先どんなに苦しいことがあっても、乗り越えて

いけることができるのかなあ」大きな自信につながりました。

この時のコースは、現在のTJARのコースと前半で大きく異なります。富山県の泊(日本海)をスタートし、小川元湯温泉→朝日岳→白馬岳→唐松岳→五竜岳→鹿島槍ヶ岳→針ノ木岳、さらに槍ヶ岳→南岳→北穂高→奥穂高→ジャングルム→西穂高→上高地に至るコースです。現在のコースより67歳ほど長く、岩場・鎖場が数多くある難度の高いコースです。

「日本海→日本アルプス縦断→太平洋を短時間で駆け抜ける」という夢を達成したその先に、さらに短い時間で踏破すべく、仲間どうしでのトライアルで再び日本海から太平洋の縦走に挑みたいという想いがありました。「次は、同じような夢を持っている人たちと一緒にチャレンジしたい。日本海から日本アルプスを越えて太平洋までの縦走を、多くの人に叶えさせてあげたい」という構想です。単独での縦走は、そのための「試

走」だったので。
 実は、私はそれ以前の1993年にも試走をおこなっています。親不知(日本海)〜母海新道〜白馬岳〜後立山連峰〜槍ヶ岳〜横尾〜鳥川林道〜松本〜諏訪湖〜横手〜甲斐駒ヶ岳〜仙丈ヶ岳〜塩見岳〜三伏峠まで。三伏峠まで10日ほどかかってしまい、タイムアウト。太平洋まで行きたかったのですが、会社のお盆休み

が終わってしまったので、断念しました。
 単独での2回の試走を経て、泊からのコースは後立山連峰や穂高連峰は岩稜区間も数多くあり、特に夜間行動は、とても危険であると判断しました。
 さらに、時間の問題があります。泊からのコースを、私は10日間かけて踏破しましたが、サラリーマンがとれるお



盆休みには限りがあります。「だいたい1週間程度のお盆休みを取るのが精いっぱいだろうなあ」期間は、1週間+αかつ安全なコースという方針を定めて、現在のコースに至っています。
 構想から9年……。2002年夏、TJAR第1回大会を開催しました。選手のひとり田中さんは直前に不参加となりましたが、私、加藤さん、小野さん、鈴木さん、そして仕事の都合で剣岳までのサポート参戦となった中野さんの5名が富山県早月河口に集まりました。結果は、岩瀬ただ一人が完走。7日5時間7分という記録でした。
 31年前から始めた私と仲間たちのチャレンジが、TJARという今や国内でも一目置かれる壮大な山岳レースの誕生へとつながりました。1995年の単独日本アルプス大縦断からTJAR第1回が開催となる2002年の間も、TJARコースの一部試走を含め、さまざまなお盆休みに挑戦してきました。例をあげると、1997年8月・南アルプス・北岳〜光岳ワンデイ(23時間

12分)、2000年8月・スイス・マッターホルン快速登頂、2001年7月・北アルプス・立山〜上高地ワンデイ(20時間1分)、2000年10月・日本山岳耐久レースでチーム優勝、年別別3位などです。私には、今なお思い描いている課題があります。それは「冬のTJAR」。つまり、TJARの冬山バージョンです。厳冬期と春の雪山シーズンに、すでにコースの一部を試走しています。2000年1月・甲斐駒ヶ岳〜光岳5日、2005年4月・立山〜槍ヶ岳1.5日などです。春は残雪が多いとラッセルがしんどいし、厳冬期は、寒さがとても厳しいけれども、いつか有志で挑戦できたらいいなと思っています。しかし、冬山の凍傷により、2010年に手足の指15本を切り刻んでしまった。また歳を重ねて、いつのまにか69歳のもうろくジジイとなってしまう。もはや、チャレンジするのは難しいだろうなあ。この想いを引き継いでくれる若人はいないだろうか・・・

10月12日(土)から14日(月)に佐賀県多久市でSAGA2024国民スポーツ大会スポーツクライミング競技が行われました。愛知県からは成年女子の部に倉菜々子、有川紗菜、少年男子の部に三宅創樹、中田凱斗の4選手が出場し、成年女子のボルダー6位、リード9位、少年男子のボルダー16位、リード20位の成績でした。

うなぎ錦三丁目 い ば しょう
いばしょう
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
 TEL <052> 951-1166 番
 営業時間 午前 11:00~午後 2:30
 午後 4:00~午後 8:00
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日

**SAGA国スポーツ大会
 SSC競技結果**
 10月12日(土)から14日(月)に佐賀県多久市でSAGA2024国民スポーツ大会スポーツクライミング競技が行われました。愛知県からは成年女子の部に倉菜々子、有川紗菜、少年男子の部に三宅創樹、中田凱斗の4選手が出場し、成年女子のボルダー6位、リード9位、少年男子のボルダー16位、リード20位の成績でした。

印象に残った私の登山 42

夏山合宿の思い出

名古屋山岳会 伊藤優子

入会して二回目の夏山合宿だったか。会では、剣岳周辺と穂高周辺を一年交代で出かけていたが、その年は剣岳。当時、夏山合宿といえ一週間以上の日程をかけ、総勢15人以上のメンバーになることもしばしばであった。入り代わり立ち代わり、メンバーを組み換え各ルートへ。思い返せば、チーフリーダーは調整が大変だったろうと思う。その時私が登ったルートは、お馴染みCフェース剣稜会ルートからの三の窓ピバーク、翌日はチンネ左稜線。事前に、パーティリーダーからどうだろう行く？と聞かれ、行く、と答えた筈だが、妥当なチャレンジだったのか。前年に、やっこさ一壁2ルート3ルート右ルート、前尾根などのリードを経験したばかりだ。初めてのつるべ本ちゃんか。泊り装備を担いでのリードだ

ね。私の実力からすれば、ギリギリ攻めたチャレンジだったように思う。荷物が少なくなるよう、ツェルト、シュラフカバー、メタクッカー使用、でも水は3L。モンベル30Lのバランスライトになんとか収めた。ヘッドレスト。剣沢から長次郎谷へ入り剣稜会取付きへ。奇数ピッチをリード担当した。当時、まだルートの残置は豊富、カムの練習はしたが、実践での使用経験に乏しかったため、ほぼ残置を利用して登っていった。控えめに言っても頭が沸騰して全く冷静ではいられない感じ、リードはフォローと全く違う、フリークライミングではない。ひりひりしたまま確保点まで。ここで、カムも使ったの支点構築。初めてのことで、大丈夫確実と思いつつも、疑わずにはいられない気持ちだ。リーダーは、あつという間に登ってきて、ロープアップが間に合わず、なんのためかロープが分からない状態であった。それからのピッ

チも登ること自体は易しく、登れる自信が湧いてくるように、段々と景色の素晴らしさも目に入るように。特に、4ピッチ目のリッジは楽しかった。ただ、岩角へのシュリングかけが中心となるため、もしも滑ったら振られて大変なことになると思い、慎重に進んだ。完登し魂が抜けてしまったのか、八峰からクレオパトラニードルを左に見ながらのトラバース。この辺りの絶景の記憶はあまりない。どこをどう歩いたのか池ノ谷ガリーを下り三の窓へ。ここでピバーク。夜中はさすがに寒くなんとかしのげる程度で、翌朝には「くっついてくれないから寒かった」という苦情をもらった。いよいよチンネ左稜線。スピードを重視した結果だったように思うが、リーダーの全リードによる登攀と決定した。リードしないといくらいいやないよなと思いつつ、実力不足の結果として受け入れる。と同時に、一気に気楽に。難しいのは鼻と呼ばれる一か所のみ。フォローの仕事はとつと登ることと決め、迷うことなく挿んで

登った。とにかく、登りやすく景色良。一方、リーダーは残置は使わずカムのみ使用としていたため、フォローも後半になると回収したカムでずっしり重かった。別ルートからの合流か、終了点には意外に沢山の人がいた。すぐに出発し短く懸垂、長次郎のコルから下り剣沢を登りテント場まで。登攀を終え、くたいたの頭で何を想い歩いただろう。語れない思いも、間もなく消えていくだろう。でも、行ってよかった、事故なく戻れてよかった。今も生きていくことに感謝である。

編集後記

■本当に暑い夏でした。熱中症を経験しているとこの暑さは怖くなります。だから計画中止も……。
■今号は大きな記事を二つ、「私の登山42」も含めて、それぞれタイプの違う登山の記事になりました。芥川賞受賞作も『バリ山行』でした。様々な登山があります。だから楽しみは尽きません。だ

(KY)

冬山装備のメンテナンス工房 HAREYAMA 冬山装備のメンテナンス アイゼン・ピッケル研ぎます 株式会社ウォームリンク 〒470-0135 愛知県日進市岩崎台 1-130 Tel. 0561-72-2805

公正証書遺言の原案の作成 遺言執行者の相談もお引き受け致します 相続手続きの支援(遺産分割協議書作成) 遺品整理、財産調査、法定相続情報一覧図等 ご相談は行政書士の西山秀夫へ 〒460-0002名古屋市中区丸の内3丁目21番21号 (地下鉄・久屋大通駅から2分の)丸の内東桜ビル1004号室 メールアドレス: hideo.nsym@gmail.com TEL:090-4857-9130

スポーツ // 文化活動 // ボランティア 団体活動のための補償制度

令和6年度 (2024年度) 保険期間 令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



スポあんネット

インターネットでかんたん加入

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。



加入区分・掛金 (年度初回加入時は 4 名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動			
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 (指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C (64歳以下)	1,850円	
		B (65歳以上)	1,200円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円	
全年齢	危険度の高いスポーツ (指導・審判を含む)	D	11,000円	
子ども (中学生以下)	ワイドコース	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW (64歳以下)	4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW (65歳以上)	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注) C-B-CW-BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 電話 0120-233-801
担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(令和6年4月予定))

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大興火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

※郵政省認可番号 237C-0000571